

奥日光 高山と切込湖・刈込湖

【日 時】 2017年8月26日～27日 両日ともに晴れ時々曇り

【参加者】 CL 柘植(記録) SL 室 安岡 大木

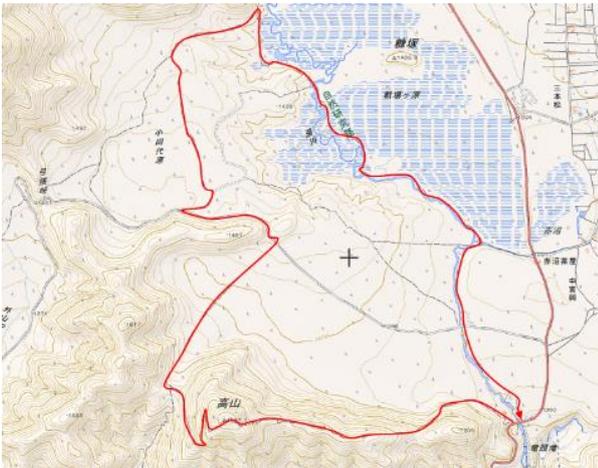
【記 録】 26日 竜頭の滝上駐車場 9:40→高山 11:05→小田代ヶ原～戦場ヶ原經由駐車場 14:40
⇒湯元(湯の滝見学) ⇒15:30 宿

27日 宿 9:15→山王峠 10:30→溜沼 10:55→切込湖→刈込湖 12:10→13:20 湯元

【内 容】 もともとは北アルプスの大日岳に行く計画であったが、富山県方面の予報が悪く、
紆余曲折の

結果、日光山系のまったり山行に落ち着いた。最近よくあるパターンである。

8/26(土) 高山



高山コース概要(湿地マークは戦場ヶ原)



竜頭の滝上駐車場から出発

来る途中の東北道では雨に降られて雨中登山覚悟かと思ったが、いろは坂を上がるころは青空も見えはじめてなんとなく期待が高まる。竜頭の滝を上から眺め、すぐにハイキング道に入る。個人的には最近毎週沢登りだったので、このような穏やかな潤いにみちた山道は本当に癒される。1時間ちょっとで高山に到着。あまり展望はよくないが、樹間から南に中禅寺湖、北に緩やかに起伏する草原や名前の分からない山々が望まれる。ここから一下りで熊窪分岐、はやくも小田代ヶ原の一角をゆるく下ると幕張峠だ。ここはハイブリッドバスが走る舗装道路で、ここを竜頭の滝上駐車場に戻るのが一番早いですが、そんなに早く戻ってもしょうがないので、かなり遠回りになるが、小田代ヶ原から戦場ヶ原を木道で歩くハイキングコースに向かう。小田代ヶ原は静かな散策を楽しむには最適な場所だ。戦場ヶ原に入るととたんに家族連れや若者グループなどで賑やかになる。広大な草原の向こうには男体山～大真名子～小真名子～太郎山の家族山脈が雄大だ。

クルマに戻るがまだ時間があるので湯元に向かい、湯滝を見学してから宿泊先のホテルに向かう。



竜頭の滝を上から見下ろす（急流の川？）



高山の山頂



小田代ヶ原の一角に入る



明日登ろうかという話の出ていた太郎山



戦場ヶ原



湯滝



本日のお泊りはちょっと贅沢に日光アストリアホテル



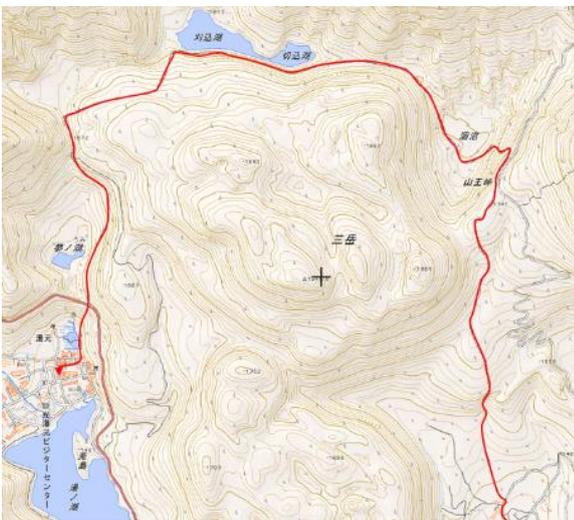
一、先付	わらびポン酢	お 献 立
一、前 菜	順才もずく う巻玉子 いちぢくワイン煮 青梅流し オクラ昆布	
一、造 り	生湯波 八汐鱈 刺身コンニャク	
一、台 の 物	牛石焼 玉葱 エリンギ茸 パブリカ	
一、揚 げ 物	山女魚竜田揚げ レモン	
一、酢 の 物	青菜巻 トラウトサーモン 茗賀子 蛇腹胡瓜	
一、煮 物	里芋万頭 茄子土佐煮 細巻湯波	
一、茶 碗 蒸 し	香味	
一、デザート	メロン ストロベリーケーキ	

たまにはちょっとゴージャスな山旅もいいでしょ

夕食の献立表

日光アストリアホテルは料金もリーズナブルで冬はスノーハイクの足場としてもよさそう

8/27 (日) 光徳～切込湖・刈込湖～湯元



光徳～山王峠～切込湖～刈込湖～湯元へ

光徳牧場のわきから歩道に入る

今日は太郎山に登ろうかという話もあったが、太郎山に登るにはそこそ早い時刻に宿を発たないといけない。しかし朝風呂に入りたいし、朝もゆっくりホテルライフを楽しみたいという声も勝って、あっさり切込湖～刈込湖周回のハイキングコースに変更となる。ホテルにクルマを置いたまま直接歩きだせるのもよい。

山王峠の手前で太郎山へのルートが分かれるが草深く（というか切込湖ルートが踏まれ過ぎ）止めといてよかったと胸をなでおろす。山王峠から一下りで潤沼というところ。広大なクボ地でもしかしたら古い火口原かな？



山王峠にて



潤沼を見下ろす



明るい涸沼（水なし）のほとり



刈込湖畔にて

メインの切込湖～刈込湖の間は展望もきかない瞑想の道。微妙に登り下りがあって楽勝というわけではない。切込湖は見下ろすだけだが、刈込湖は湖畔に降りることができてくつろげる。湯元に下山するとちょうど光徳經由日光駅行きのバスが出るところで、効率的にホテルに戻ることができた。帰りは大木さんから中禅寺金谷ホテルでお茶をとという強い要望があったが、1対3で否決して、エントランス付近の見学にとどめてもらった。温泉はやしおの湯に寄るが、駐車場のあまりの車の台数に恐れをなしてパス、久しぶりの日光温泉に向かう。ここは震災後長い間休業していたが、調べてもらったら営業再開しているもよう、今回は本当に久しぶりだ。最後は今市インター手前の漬物屋兼そば屋で早めの夕食をとり、事故渋滞の東北道経由で帰葉した。

最近日光は個人的には周辺部のハイキングや縦走、沢登りなどが多かったが、やはり中禅寺湖～戦場ヶ原～湯元などの中心部はハイキングの王道をいくルートだ。今回はまったり温泉がいいということで、数ある候補地の中からなんとなく日光にしたのだが、大きな山を入れなかったのが正解で、ゆったりした計画で温泉や周囲の眺め・雰囲気をも十分に楽しむことができた。中高年はやっぱりこれかなと思ってしまふ山行でした。

山行報告： 柘植秀樹